

令和2年第1回企業団議会（第1回定例会）会議録

招 集 令和2年2月10日（月） 午後3時00分

開 会 令和2年2月10日（月） 午後3時05分

閉 会 令和2年2月10日（月） 午後3時43分

会議の区分 定例会

会議の場所 岡山県南部水道企業団 議場

出席議員

- | | |
|------|---------|
| 1 番 | 藤 原 哲 之 |
| 2 番 | 梶 田 省 三 |
| 3 番 | 田 辺 昭 夫 |
| 4 番 | 時 尾 博 幸 |
| 5 番 | 藪 田 尊 典 |
| 6 番 | 氏 家 勉 |
| 7 番 | 大 月 博 光 |
| 8 番 | 小 泉 馨 |
| 9 番 | 高 原 良 一 |
| 10 番 | 細 川 健 一 |
| 11 番 | 片 山 貴 光 |
| 12 番 | 中 西 公 仁 |
| 13 番 | 藤 井 昭 佐 |
| 14 番 | 森 守 |

欠席議員

- | | |
|------|-----|
| 15 番 | 原 勲 |
|------|-----|

説明のため出席した者

企業長 片 山 寛 一

事務局長 小 田 博 則

総務課長 近 藤 孝 之

施設課長 山 下 公 司

議会事務のため出席した者

議会書記

総務課課長補佐 三 宅 智 之

総務課 主 幹 小 池 正 芳

議事日程

日程 1. 議席の決定について

日程 2. 会議録署名議員の指名について

日程 3. 会期の決定について

日程 4. 選挙第 1 号 議長の選挙について

日程 5. 選挙第 2 号 副議長の選挙について

日程 6. 議案第 1 号 令和 2 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算について

日程 7. 議案第 2 号 監査委員の選任の同意を求めることについて

日程 8. 常任委員会委員の選任について

会議録署名議員

1 番 藤 原 哲 之

3 番 田 辺 昭 夫

令和2年第1回企業団議会（第1回定例会）会議録

令和2年2月10日 午後3時05分開会

議長（時尾博幸君）

皆さま、こんにちは。

本日、令和2年第1回定例会を招集しましたところ、議員の皆さまには、公私とも何かとご多忙の折り、ご出席いただき誠にありがとうございます。

ただ今の出席議員は、14名でございます。

定数に達しており議会は成立いたしますので、ただ今から、令和2年岡山県南部水道企業団第1回定例会を開会いたします。

日程1．議席の決定について

議長（時尾博幸君）

それでは、お手元の日程表により会議を進めたいと思います。

日程第1、議席の決定については、会議規則第2条により、議員の席次は毎年最初の議会で抽選をもってこれを定めると規定されておりますが、ここで抽選をいたしましょうか。

或いは、現在の仮議席を正式の議席として取り扱いはしょうか。

お諮りいたします。

（「現在のままで」と呼ぶ者あり）

議長（時尾博幸君）

それでは、議席の決定については、現在の仮議席を正式な議席とさせていただきますので、よろしくお願いたします。

日程 2. 会議録署名議員の指名について

議長（時尾博幸君）

次に、日程第 2、会議録署名議員の指名については、慣例によりまして私より指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

1 番 藤原哲之議員、3 番 田辺昭夫議員、にお願いいたします。

日程 3. 会期の決定について

議長（時尾博幸君）

次に、日程第 3、会期の決定については、会議規則第 4 条により本日 1 日限りいたします。

ここで暫時休憩いたします。

午後 3 時 7 分休憩

(休憩)

午後 3 時 12 分再開

日程 4. 選挙第 1 号 議長の選挙について

副議長（高原良一君）

それでは、休憩を閉じて会議を再開いたします。

先程の休憩中に時尾議長から辞職願が提出されております。

副議長の私が議長の役を務めますので、よろしくお願いいたします。

時尾議長、辞職に際しましてご挨拶がございましたらお願いいたします。

議長（時尾博幸君）

失礼いたします。

議長退任にあたり一言、ご挨拶をさせていただきます。

1年間、円滑な議会運営にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

（議席に移動）

副議長（高原良一君）

それでは、日程第4、選挙第1号、議長の選挙についてを上程いたします。

選挙の方法ですが、従来より慣例になっておりますのは、申し合わせによる該当地区から議長候補を推薦していただき、その方を議長にということで行っておりますが、その方法でいかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

副議長（高原良一君）

それでは、そのようにいたします。

申し合わせによる該当地区は、玉野地区となっておりますので、議長候補を推薦してください。

6番（氏家 勉君）

大月議員をお願いします。

副議長（高原良一君）

ただ今、大月議員が議長に推薦されましたが、議長に決定することで、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

副議長（高原良一君）

では、ご異議ないようですので、議長は大月議員に決定いたしました。

私の議長としての役目は、これで終わらせていただきます。

どうもご協力ありがとうございました。

それでは新議長さん、議長席へお願いいたします。

（新議長、議長席に移動）

議長（大月博光君）

新任のご挨拶をさせていただきます。

ただ今、議長の大任を拝しました玉野市議会の大月博光と申します。

時尾前議長から引き続き、しっかりと皆さまの進行をしていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

日程 5. 選挙第 2 号 副議長の選挙について

議長（大月博光君）

それでは、引き続いて会議を進めたいと思います。

先程の休憩中に、高原副議長から辞職願が提出されております。

高原副議長、辞職に際しましてご挨拶がございましたら、お願いいたします。

副議長（高原良一君）

副議長ということで、あまり出番もなかったですけども、議長と何度か情報交換をさせていただいたり、視察先で乾杯の音頭をとらせていただいたりとか、いずれにしても短い間でしたけれども、大変、皆さまにはご協力をいただきありがとうございました。

（議席に移動）

議長（大月博光君）

それでは、日程第5、選挙第2号、副議長の選挙についてを上程いたします。

選挙の方法ですが、先程の議長選挙と同じく申し合わせによる該当地区から副議長候補を推薦していただき、その方を副議長にどのような方法でいかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

それでは、そのようにいたします。

申し合わせによる該当地区は、児島地区となっておりますので、副議長候補を推薦してください。

13番（藤井昭佐君）

児島地区から中西公仁議員を推薦します。

議長（大月博光君）

ただ今、中西議員が副議長に推薦されましたが、副議長に決定することでご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

では、ご異議ないようですので、副議長に中西議員を決定いたしました。

それでは副議長さん、席の移動をお願いいたします。

（新副議長、副議長席に移動）

議長（大月博光君）

それでは、副議長、就任のご挨拶をお願いします。

副議長（中西公仁君）

ただ今、推薦をいただきました中西でございます。

水道事業、大変厳しいことや難しいことが今後多いと思えますけれども、議長を支えてしっかりとやっていきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

日程 6．議案第 1 号 令和 2 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算について

議長（大月博光君）

次に、日程第 6、議案第 1 号、令和 2 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算についてを上程いたします。

企業長の説明をお願いいたします。

企業長（片山寛一君）

ただ今、ご上程いただきました議案第 1 号、令和 2 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算につきまして、ご説明申し上げます。

失礼ですが座ってご説明させていただきます。

それでは、予算書の 1 頁をお開きください。

第 1 条の総則は省略させていただきます。

まず、第 2 条、業務の予定量でございますが、送水量につきましては、令和元年度の実績と近年の送水量の推移、また、各構成市からの需要見込みを総合的に勘案いたしまして、年間総送水量を前年度当初予算より 50 万 m³減量の 2,628 万 5 千 m³、1 日平均で 7 万 2,014 m³を見込んでおります。

主要な建設改良事業につきましては、整備事業費といたしまして、管理本館築造工事など、7 億 6,699 万 2 千円を予定しております。

また、設備改良事業費といたしまして、第 4 系急速ろ過池整備工事など、5,773 万 4 千円を予定し、建設改良事業総額といたしましては、8 億 2,472 万 6 千円を予定しております。

続きまして第 3 条、収益的収入及び支出でございますが、水道事業収益として 16 億 3,

659万4千円、水道事業費用として14億4,656万6千円を計上し、税込みで1億9,002万8千円の黒字を予定しております。

第4条、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入として3億5,534万円、資本的支出として11億634万円を計上し、不足額7億5,100万円につきましては、損益勘定留保資金、積立金等で補てんする予定でございます。

次に、2頁をご覧ください。

第5条、継続費でございますが、令和2年度からの継続事業として4件を計画し、それぞれ総額及び年割額を定めております。

第6条、債務負担行為でございますが、2件の業務委託につきまして、それぞれ期間及び限度額を定めております。

第7条、企業債でございますが、施設整備等の資金に充てるための企業債の限度額等を定めております。

第8条、一時借入金でございますが、一時借入金の限度額を2,000万円に定めております。

第9条、予定支出の各項の経費の金額の流用でございますが、予定支出において各項間で流用できる場合として、営業費用と営業外費用の流用を定めております。

第10条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費でございますが、議会の議決を頂かなければ流用できない経費として、職員給与費と交際費を定めております。

第11条、たな卸資産購入限度額でございますが、たな卸資産である材料を購入できる限度額について、令和2年度における使用予定量をもとに定めております。

以上、簡単にご説明いたしました。何とぞご審議の上、ご議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、当企業団におきましては、昭和25年2月の事業認可から70年が経過したところでございますが、水需要の減少が続く一方で、浄水施設や基幹管路などの老朽化に伴う計画的な大規模更新・耐震化等を控えており、事業経営はより一層厳しくなるものと考えております。

従いまして、事業運営に当たりましては、経費の節減はもとより、優先度や費用対効果も勘案しながら、より効率的な経営を行ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

詳細につきましては、事務局長から引き続きご説明申し上げます。

以上でございます。

議長（大月博光君）

続いて、詳細説明をお願いいたします。

事務局長（小田博則君）

事務局長の小田でございます。

それでは、詳細説明に入らせていただきます。

失礼ですが座ってご説明させていただきます。

主に予算書に沿ってご説明を申し上げますが、机の上にお配りしております令和2年度当初予算案の概要、左肩をホチキス留めしたA4縦版7頁ものの資料にも触れながら、ご説明申し上げます。

なお、企業長からの説明と、一部重複するところがございますが、よろしく願いいたします。

予算書の1頁から3頁、資料では1頁になりますが、先程、企業長から説明した内容でございますので、省略させていただきます。

予算書の4頁から5頁と資料の2頁をご覧ください。

資料の収益的収入支出比較表でございますが、予算書に記載しております予算実施計画の収益的収入及び支出のそれぞれの主な内訳と前年度比較をお示ししておりますので、併せてご覧ください。

まず、予算書の上段、収入でございますが、水道事業収益16億3,659万4千円のうち、営業収益は16億1,826万2千円でございます。営業収益のうち、送水収益は前年度より1,538万6千円減額の16億1,823万1千円でございます。その他営業収益は3万1千円で、再任用職員等の雇用保険料でございます。営業外収益は1,833万2千円で、主なものは当企業団が所有しております水源涵養林の間伐材売却代金等、雑収益の1,527万8千円でございます。

次に、予算書の下段、支出でございますが、水道事業費用14億4,656万6千円のうち、営業費用は13億4,003万1千円でございます。営業費用のうち、原水及び浄

水費は、3億1,145万4千円で、前年度より107万7千円の増額となっております。これは、一部外部委託しております施設の運転管理業務に係る委託手数料の増加が主な要因でございます。次に、送水費は、4億2,590万3千円で、前年度より1,189万1千円の減額となっております。これは、送水施設の維持、補修等に係る修繕費の減少が主な要因でございます。次に、議会及び監査費は、前年度より21万円増額の1,796万9千円でございます。次に、総係費は、1億6,632万1千円で、前年度より4,652万9千円の減額となっております。これは、1号送水本管廃止に伴う構成団体への負担金の減少が主な要因でございます。次に、減価償却費は、4億920万9千円で、前年度より1,341万2千円の減額となっております。次に、資産減耗費は、917万5千円で、前年度より399万2千円の増額となっております。続きまして、営業外費用でございますが、1億543万5千円で、前年度より19万8千円の増額となっております。これは、企業債の支払利息は減少となりますが、消費税及び地方消費税納付額が増加となるためでございます。

予備費につきましては、前年度と同額の110万円でございます。

ここで、資料の4頁をお願いします。

令和2年度主要事業でございますが、3条予算関係の主要事業を記載したものでございます。

工事につきましては、1番目の水質計器整備工事、2番目の第4系グリーンリーフユニット整備工事など13件、委託につきましては、1番目の浄水・送水施設運転管理業務委託、2番目の中央監視設備点検業務委託など5件で、3条予算関係の主要事業18件の総額は、2億3,084万7千円となる見込みでございます。

収益的収入及び支出につきましては以上でございます。

次に、予算書の6頁から7頁と資料の3頁をご覧ください。

資料の中ほどから下、資本的収入支出比較表でございますが、先程と同じく予算書に記載しております予算実施計画の資本的収入及び支出のそれぞれの主な内訳と前年度比較をお示ししておりますので、併せてご覧ください。

予算書の上段、収入でございますが、令和2年度は企業債の借入を予定しており、予定額は3億5,534万円でございます。これは、平成23年度以来9年ぶりの借り入れとなりますが、管理本館築造工事等の財源に充当する予定でございます。

次に、予算書の下段、支出でございますが、建設改良費は2億6,524万7千円増額の8億2,472万6千円で、内訳としましては、整備事業費が2億4,089万4千円増額の7億6,699万2千円、設備改良費が2,435万3千円増額の5,773万4千円でございます。次に、固定資産購入費は、3,000万9千円で、1,479万8千円の増額となっております。次に、企業債償還金は企業債の元金償還でございますが、令和2年度は、2億5,160万5千円の見込みでございます。

ここで資料の5頁をお願いします。

先程と同じく令和2年度主要事業でございますが、こちらは4条予算関係の主要事業を記載したものでございます。

工事につきましては、1番目の管理本館築造工事、2番目の田の口増圧ポンプ所増圧ポンプ設置工事など8件、委託につきましては、1番目の3号送水本管移設工事設計業務委託、2番目の正面山調整池築造工事設計業務委託など3件で、4条予算関係の主要事業11件の総額は、7億6,549万5千円となる見込みでございます。

以上の結果、予算書にありますとおり、資本的収入の合計は3億5,534万円、資本的支出の合計は11億634万円で、7億5,100万円が資本的収支の不足額となります。

この不足額の補てんにつきましては、資料の6頁をご覧ください。

資料の中ほど、補てん財源の補てん額にありますように、損益勘定留保資金4億1,838万4千円、消費税等資本的収支調整額7,300万2千円、積立金の取り崩し2億5,961万4千円で充当する予定でございます。

次に、予算書の8頁をご覧ください。

予定キャッシュ・フロー計算書でございますが、下から3行目にありますように、令和2年度は1億863万8千円の資金減少となり、資金期末残高は37億4,751万7千円となる見込みでございます。

次に、予算書の9頁から14頁の給与費明細書でございますが、こちらにつきましては説明を省略させていただきますので、後程ご覧いただければと思います。

次に、予算書の15頁から16頁をご覧ください。

継続費に関する調書でございますが、すでに事業を開始している3件と、新規事業4件の継続事業について、年割額や企業債の充当予定等を記載しております。

次に、予算書の17頁から18頁をご覧ください。

債務負担行為に関する調書でございますが、2件の業務委託について、限度額等を記載しております。このうち、浄水・送水施設運転管理業務委託は、現在の契約が令和元年度末で満了となりますので、4月からの業務委託の更新を行うため、債務負担行為をお願いするものでございます。従来から、債務負担行為の設定を含めた予算要求を更新前の2月議会での議案とさせていただいておりますが、業者が変更となった場合の引き継ぎ期間が短期間となることから、今回の更新からは、債務負担行為の設定をこれまでより1年前倒して予算計上し、様々なケースを想定して入札準備を進めてまいりたいと考えております。また、現在、この業務は、業者3班、職員1班の体制で実施しておりますが、業者3班分について業務委託しているところでございますが、この度は、委託手数料の大幅な増加が見込まれる状況であることも踏まえ、経費削減のために、例えば、業者と職員を各2班体制に戻すようなことも今後検討しなければならないと考えております。このようなことから、職員の育成や体制の見直しのための検討期間を見込んで、3年の債務負担行為の設定をお願いしているものです。

次に予算書の19頁をご覧ください。

予定損益計算書でございますが、下から4行目にありますように、当年度純利益を1億4,692万6千円と見込んでおり、前年度繰越利益剰余金5億7,212万3千円、その他未処分利益剰余金変動額2億5,961万4千円を合わせまして、当年度未処分利益剰余金は9億7,866万3千円となる見込みでございます。ただし、この当年度未処分利益剰余金には、会計処理上発生する資金の裏付けのない金額も含まれており、実質的な当年度未処分利益剰余金は、3億6,754万7千円となる見込みでございます。

予算書の20頁から22頁の予定貸借対照表につきましては、説明を省略させていただきますが、資料の7頁に前年度との比較表がありますので、後程、ご覧いただければと思います。

以上、簡単ではございますが、私からのご説明を終わらせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

議長（大月博光君）

ただ今、説明がありましたが、質疑のある方は、お願いいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 (大月博光君)

それでは、この議案について討論のある方は、ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長 (大月博光君)

討論を終わり、採決にはいります。

本案は、挙手により採決いたします。

議案第1号、令和2年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算については、原案のとおり可決することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

議長 (大月博光君)

挙手多数により、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

日程7. 議案第2号 監査委員の選任の同意を求めることについて

議長 (大月博光君)

次に、日程第7、議案第2号、監査委員の選任の同意を求めることについてを上程いたします。

企業長の説明をお願いいたします。

企業長 (片山寛一君)

ただ今、ご上程いただきました議案第2号、監査委員の選任の同意を求めることについて、ご説明申し上げます。

現在の監査委員、池上 茂氏の任期が本年3月31日で満了となるため、その再任の同意

をいただきたく、地方公営企業法第39条の2第5項の規定により、提案するものでございます。

再任をお願いいたします池上氏には、これまでの2年間、当企業団の監査委員として、熱心に審査していただいております。

財政に精通されており、人格も監査委員として申し分のない方であることから提案させていただきますので、どうかご審議の上、ご同意をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、議案書の5頁に池上氏の経歴書をお付けしておりますので、ご参考としていただけたらと思います。

以上でございます。

議長（大月博光君）

ただ今、説明がありましたが、質疑のある方は、お願いいたします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

それでは、お諮りいたします。

議案第2号、監査委員の選任の同意を求めることについては、原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

それでは、ご異議ないようですので本案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

それでは、再任される池上監査委員の入場をお願いいたします。

（池上監査委員入場）

議長（大月博光君）

池上監査委員さん、再任のご挨拶をお願いいたします。

監査委員（池上 茂君）

失礼いたします。

池上でございます。

先程は、監査委員の再任にご同意いただきまして、ありがとうございます。引き続き、当企業団の適切な事業運営、健全な経営推進に向け、監査委員としての務めを果たしてまいりたいと考えますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

議長（大月博光君）

ありがとうございました。

引き続きよろしくお願いをいたします。

（池上監査委員退場）

日程８． 常任委員会委員の選任について

議長（大月博光君）

次に、日程第８、常任委員会委員の選任についてを上程いたします。

この選任については、先程の休憩中にご協議していただいておりますので、総務、建設各委員会の正副委員長及び各委員について事務局から発表させますが、よろしいでしょうか。

（「よろしい」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

それでは、事務局から発表してください。

議会事務局（三宅智之君）

総務委員会ですが、委員長が片山貴光議員、副委員長が藪田尊典議員、委員が梶田省三議員、田辺昭夫議員、高原良一議員、細川健一議員、中西公仁議員、続きまして建設委員会ですが、委員長が藤原哲之議員、副委員長が氏家 勉議員、委員が時尾博幸議員、大月博光議員、小泉 馨議員、藤井昭佐議員、森 守議員、原 勲議員、以上となりますので、よろしくお願いいたします。

議長（大月博光君）

それでは、常任委員会委員の選任については、事務局の発表のとおり決定いたします。

次に、一般質問ですが、発言通告がありませんでしたので省略いたします。

以上で、本日子定の案件はすべて終了いたしました。

以上をもちまして、令和2年第1回定例会を閉会といたします。

慎重なるご審議ありがとうございました。

令和2年2月10日（月） 午後3時43分閉会